

第 86 回日本マイコトキシン学会学術講演会では、学生会員の優れた口頭発表に対してベストプレゼンテーション賞を授与しました。13名の学生の発表を14名の審査員が（1）スライドの適切さ（見易さ、理解し易さ）、（2）発表の分かり易さ、（3）質疑応答の適切さ、の3項目について5段階で絶対評価しています。以下の3名の方が授賞されました。

0-01 岸本真凜（お茶の水大学大学院人間文化創成科学研究科）

「DV-AM 法を用いた圃場からの二系統の *Aspergillus flavus* の単離」

0-05 小泉慶明（東洋大学大学院理工学研究科）

「*Fusarium venenatum* 培養におけるトリコセン生産可能栄養源の探索」

0-09 曾我凱生（東京理科大学大学院基礎工学研究科）

「ステリグマトシスチン遺伝子クラスター転写因子 AfIR の核移行シグナルの探索」